

# 金型レスの「3-2-1-0」加工

## グランツテクノ、圧倒的短納期に

グランツテクノワークス(東京都狛江市、☎03・4500・1308)は、プラスチック成形の常識を破るイニシャルレスの加工・通称「3-2-1-0加工(さんにいちぜろかこう)」を展開する。ポリエステルやアクリル、ポリカーボネートといった汎用樹脂の板加工などで金型レスを実現。試作から量産まで対応し、すでに現金自動預払機(ATM)や業務用端末の構造部品などに採用。金型製作にかかる時間が短縮できるため「圧倒的な納期スピードになります」(宮本鎮郎社長)と胸を張る。



「3-2-1-0加工」は、顧客から3次元データを受け取り、同社で2次元の加工データに変換し、最短1日、イニシャルコスト0円で製作することに由来する。

プラスチック板などの材料に対し、独自改良を施した生産設備でスピード加工していく。板厚がミクロン台のフィルムから8ミリまで対応した。

通常はプラスチック部品を試作、量産する場合でも金型が必要になる。ただ、金型の設計から製作期間、製作コストも要する。その点、「3-2-1-0加工」は、そもそも金型を使わないので納期短縮のみならず、同じ試作品であっても、いくつかのパターンが製作できるなど、数多くの相乗効果が出てくるという。

「材料を無駄にせず、金型も作らない

ので環境負荷も減らせます」(宮本社長)と付け加える。

### ■町工場の新形態

2019年5月設立した企業。「業界では新参者です。その新参者が他社と同じことをやっても勝てるはずがありません。価格競争は疲弊するだけです。だから、ものづくりとビジネスモデルを根本から見直しました」という宮本社長。

長年業界に携わっていたが、さらに勉強や研究を重ね、同加工を編み出した。「誰でもやろうと思えばできるが、やれてないことにフォーカスしたビジネスをやれば儲(もう)かるという確信がありました」。全国を飛び回り、年間40回ほどの展示会に出向いてトップセールスも繰り返した。



20年3月には小田急線・狛江駅前のマンション1階のテナントに生産機能を兼ね備えた本社を移転。交通アクセスがよく人材が集まりやすい環境になった。「町工場の新形態です」としており、今後も業界を驚かせていきたいとしている。